

第2期かがみの創生総合戦略 効果検証資料

資料1

1. 人口の現状

(1) 鏡野町人口ビジョンの推計値に対する実績値

| | | | | | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 鏡野町人口（国勢調査ベース） | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | ～ | R7 |
| 人口ビジョン推計値 | - | - | - | - | - | 12,137 | | 11,443 |
| 国勢調査結果 | 12,847 | - | - | - | - | 12,062 | | - |
| （参考）住民基本台帳ベース | H27 | H28 | H29 | H30 | H31(R1) | R2 | R3 | R4 |
| 各年1月1日現在人口 | 13,773 | 13,609 | 13,439 | 13,211 | 13,024 | 12,859 | 12,739 | 12,610 |

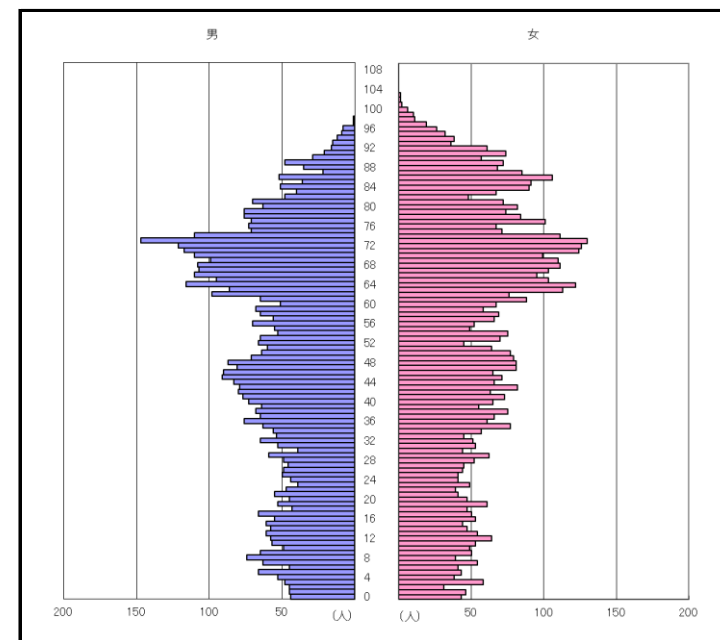
鏡野町の人口は減少傾向であり、令和2（2020）年国勢調査の結果では、「鏡野町人口ビジョン」（平成27（2015）年策定）の推計値より低い水準となっている。国勢調査の人口と住民基本台帳の人口はかい離があるが、減少率はほぼ同じである。

(2) 令和4年1月1日現在の鏡野町人口構成

| R4.1.1人口構成 | 男 | 女 | 合計 | （構成比） |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 0～14歳 | 831 | 712 | 1,543 | 12.2% |
| 15～64歳 | 3,216 | 3,119 | 6,335 | 50.2% |
| 65歳以上 | 2,068 | 2,664 | 4,732 | 37.5% |
| （再掲）75歳以上 | 944 | 1,552 | 2,496 | 19.8% |

出典：住民基本台帳データ

高齢化率（65歳以上人口）は37.5%であり、右の人口ピラミッドからも65歳-74歳の比率が高くなっていることがわかる。5歳刻みで集計すると、70-74歳が最も多く、次点で65-69歳が多くなっている。

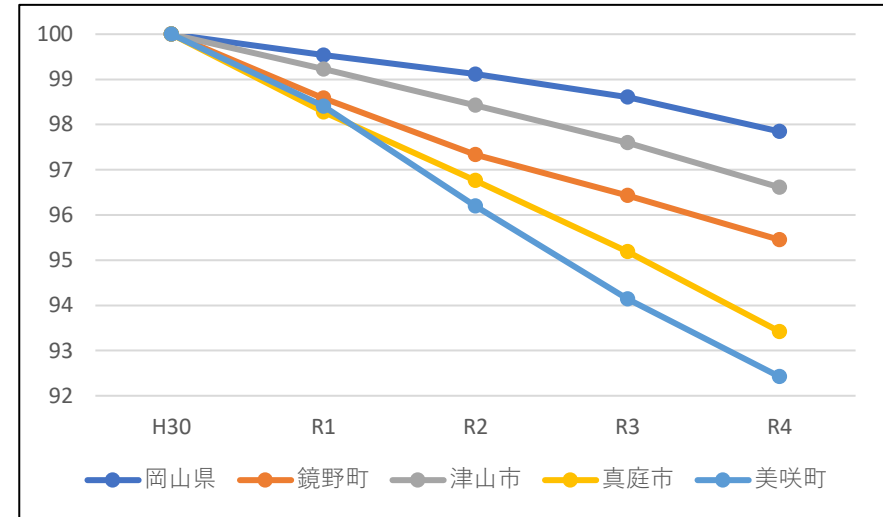


(3) 周辺市町村の人口増減率（1月1日時点・前年比）の状況

| | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 岡山県平均 | -0.46 | -0.42 | -0.51 | -0.77 |
| 鏡野町 | -1.42 | -1.27 | -0.93 | -1.01 |
| 津山市 | -0.77 | -0.81 | -0.84 | -1.01 |
| 真庭市 | -1.72 | -1.54 | -1.63 | -1.86 |
| 美咲町 | -1.59 | -2.24 | -2.14 | -1.82 |

出典：総務省公表「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」

※グラフはH30=100として各年の増減率を考慮した計算結果を反映

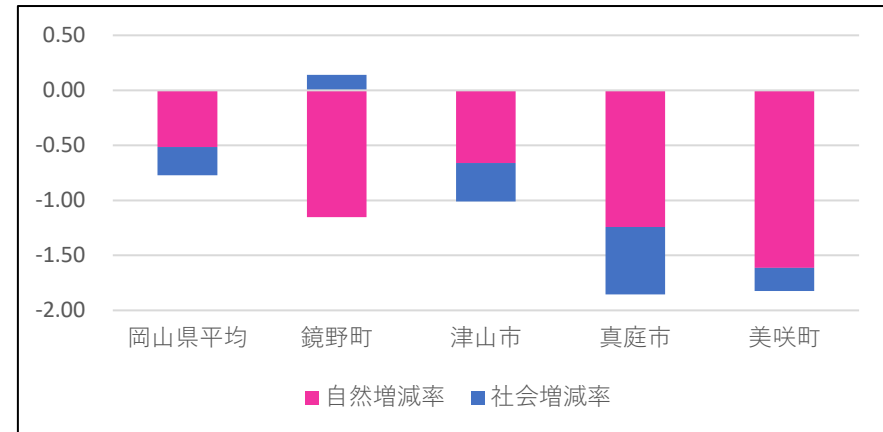


平成30年度からの人口増減率を見ると、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においても人口減となっている。減少率の大きさを見ると、鏡野町は県平均及び津山市より大きく、真庭市と美咲町より小さい結果となっている。

(4) 周辺市町村の令和3年の自然増減率と社会増減率

| | 自然増減率 | 社会増減率 |
|-------|-------|-------|
| 岡山県平均 | -0.52 | -0.26 |
| 鏡野町 | -1.15 | 0.14 |
| 津山市 | -0.66 | -0.35 |
| 真庭市 | -1.24 | -0.61 |
| 美咲町 | -1.61 | -0.21 |

出典：総務省公表資料「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」



令和3年中の自然増減率と社会増減率を見ると、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においても自然増減率はマイナスとなっている。社会増減率については、鏡野町のみプラスとなっている。

2. 各目標の評価と今後の方針

達成度：「◎」目標を大きく上回る（120%超）、「○」目標達成、「△」目標未達成

【基本目標1】

安定した雇用を創出する

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|----|----|----|----|-----|
| | — | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 15歳以上就業者数（国勢調査） | 6,289人 (2015年) | 5,576人 (2025年) | 5,890 (2020年) | | | | | — |

基本目標1 取組と効果検証

基本目標として掲げる「15歳以上就業者数」については、令和2（2020）年国勢調査の結果によると、5,890人であった。15歳以上人口のうち労働力状態「不詳」を除いた人口は10,345人であり、56.9%が就業していることがわかる。

6次産業化の取組としては、第三セクターが生産した米を「かき餅」に加工し、新商品として販売を行った。新規創業・起業件数も順調に推移しており、これは補助制度の充実と商工会での相談体制の確立が奏功したものと考えられる。

観光分野では、コロナ禍によるイベント等の中止が響いたが、プロモーション本部と観光協会が連携し、自然アクティビティの受入環境整備を進めたことで、エコツーリズムのプログラムが充実した。

集落営農組織については、集落の農家の高齢化が進み、新たに組織を設立する余裕がなくなっている。今後は新たな設立だけでなく、広域的な組織の統合を検討する必要がある。

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|----------------|-------|--------|------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 6次産業化の取組事例数 | — | 計5件 | 1 | | | | | ○ |
| 新規創業・起業件数 | — | 計20件 | 9 | | | | | ◎ |
| エコツーリズムルート開拓件数 | — | 計5件 | 2 | | | | | ◎ |
| 新規就農者数 | — | 計15人 | 3 | | | | | ○ |
| 集落営農組織の設立 | — | 計1団体 | 0 | | | | | △ |
| 観光入込客数 | 729千人 | 年900千人 | 790 | | | | | △ |

【基本目標2】

子育て世代に選ばれる環境づくり

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|---------|---------------|------|------|----|----|----|----|-----|
| | — | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 合計特殊出生率 | 2.04 (H28) | 2.04 | 2.12 | | | | | ○ |

基本目標2 取組と効果検証

基本目標として掲げる「合計特殊出生率」は、2.12であり、目標である令和7年度2.04を上回った。近隣市町の中でも高い水準の給付である「子ども医療費助成事業」、「育児用品助成事業」などが奏功したものと考えられる。

指標である「子育てしやすい町だと感じている町民の割合」が90%と高い水準であり、これは子育て支援に関する施策全般が、幅広い世代に評価されたものと考えられる。「仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合」は、71.3%で現時点で目標値には届いていない。新型コロナウイルス感染症拡大で、学校や保育園等が臨時休業し、仕事を休まざるを得ない状況となったことが要因の一つと考える。令和4年度は保育園の待機児童も発生し、子どもを安心して預けることができる体制の充実が必要と考える。

出生数については、妊娠届出数（令和2年度89人、令和3年度75人）に対し、出生数のほうが上回っていることから、達成には妊婦の転入も影響していると推測する。子ども医療費助成事業、育児用品助成事業などにより、鏡野町で子育てをしたいと考える人が多かったと考える。

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|------------------------|-------|-----|------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 子育てしやすい町だと感じている町民の割合 | 89.8% | 90% | 90 | | | | | ○ |
| 仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合 | 80.7% | 75% | 71.3 | | | | | △ |
| 年間の出生数 | 90人 | 90人 | 91 | | | | | ○ |

【基本目標3】

新しい人の流れをつくる

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|------|---------|-------------|--------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 交流人口 | 47,640人 | 毎年 3万人以上 | 54,896 | | | | | ◎ |

基本目標3 取組と効果検証

基本目標として掲げる「交流人口」は、54,896人となり、目標値を大きく上回った。「里山健康クラブ」の増加が影響した。

移住者数は目標を達成している。コロナ禍によりオンラインの移住相談が普及したことや、テレワークが可能となったことをきっかけに、地方移住への関心が高まったと考えられる。また、町の南部でアパートが増えるなど、民間活力により住宅環境が整備されたことも移住を後押ししたものと考えられる。

文化・スポーツ合宿招致数については、コロナ禍の影響による合宿の減少が響き、目標には至っていない。

ふるさと納税の寄附者数については、令和2年からコロナ禍のなかで全国的に盛り上がっていることや、ぶどうの品質が良いという声をいただき、リピーターも増えたこと等により、目標達成となった。

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|--------------|--------|----------------|-------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 移住者数 | 14 | 年間30人 | 32 | | | | | ○ |
| 文化・スポーツ合宿招致数 | 4件 | 年間20件 | 3 | | | | | △ |
| ふるさと納税の寄附者数 | 1,121件 | 年間 1,000件以上 | 1,067 | | | | | ○ |

【基本目標4】

住み続けたい魅力あるまちをつくる

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|----------|--------|-----|------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 住み続けたい割合 | 86.90% | 88% | 83.9 | | | | | △ |

基本目標4 取組と効果検証

基本目標として掲げる「住み続けたい割合」は、83.9%で目標達成に至らなかった。年代別の内訳を見ると20歳代の値が低く、不景気やコロナ禍の影響で、若者が現状より良い待遇を求めて転出を検討している可能性がある。

町営バス・タクシー乗車人数は、目標未達成となった。コロナ禍の外出控え傾向に加え、町でタクシー助成事業を開始したことが要因と考えられる。

要介護認定率は目標を達成した。介護保険制度や相談窓口の周知が進み、支援体制が充実していることから、新規申請者数は増加した。

省エネ機器導入促進補助金申請件数は、高効率給湯器の申請が多く、好評をいただいているとともに、蓄電池の補助申請も増加してきている。広報の効果もあり、目標数値を達成できた。

| 数値目標 | 現状値 | 目標値 | 実績数値 | | | | | 達成度 |
|------------------|---------|---------|-------|----|----|----|----|-----|
| | R2 | R7 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 町営バス・タクシー乗車人数 | 10,001人 | 14,000人 | 8,838 | | | | | △ |
| 要介護認定率 | 2.5 | 2%低い率 | 2.2 | | | | | ○ |
| 省エネ機器導入促進補助金申請件数 | 96件 | 年間80件 | 83 | | | | | ○ |

【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する

行政評価外部評価委員会のほか、町が行う各種委員会等において様々な職種の方に関わっていただき、施策を推進した。

【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする

コロナ禍の影響によるデジタル化の機運の高まりを受け、幅広い分野でオンラインの取組を推進した。また、マイナンバーカードの取得促進等、デジタル化の基盤整備に取り組んだ。